



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 37

発行 平成29年1月13日(金)

発行責任者 校長 長嶺 吉浩



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒(知)
広い視野をもち、思いやりのある生徒(徳)
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒(体)

～新年の抱負 3学期スタートは学習に力が入ります～



3年生 実力テスト

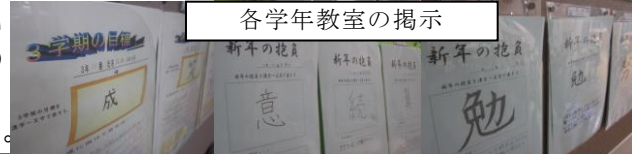
2年生 明けテスト

1年生 明けテスト

3学期が始まりいろいろなテストが実施されました。また金曜日はスプリングコンテストが行われました。まとめの3学期は、学習の成果をまとめる学期となります。1・2

学期で培ってきた知識や思考力、学習の習慣や態度、学習の方法など平成28年度を振り返り見直す必要があります。子ども達は新年の抱負に様々な願いを込めていましたが、この1年間でさらに学力を高めてほしいと思います。新学期開始の生徒の姿からは、休まず勉強を続けてきた雰囲気強く感じられました。

各学年教室の掲示



・「水曜日 かぞくだんらん えがおの日」・

最近いろいろな場面でスマホやゲーム機器への過剰な接触は、子供の発育に対して害があることが医学的な脳の発達や発育の立場から述べられています。

「仙台医療センター小児科医 田澤雄作先生の講演より抜粋」～過剰な映像メディア漬けは、いろんな問題を生じますが、その一つが、睡眠時間や休息の時間を奪う結果で生じる脳の疲労、現代病が「慢性疲労」です。慢性疲労は「脳の機能低下」、特に前頭葉の機能低下です。～略(慢性疲労はうつ病そっくり!)～また「テレビを長時間見ると脳の発達に悪い」「言語能力が落ちる」ことが改めて報道されています。～略～脳科学者の川島隆太さんも「ゲームなどの遊びは長くても1時間以内」と言っています。いろいろなものを含めて1時間が目安と言っています。実際に学力(数学)と携帯・スマホの関係が報告され、興味深い事実が明らかにされました。勉強しないグループに比較し、勉強するグループの成績は当然良い結果になりますが、携帯やスマホを使えば使うほど、どんどん学力が下がるという結果です。注目すべきは1時間使用までは「学力に影響がない」事実です。便利な道具として、あるいは気分転換の道具として、1時間くらい使うのは問題は少ないが、それ以上はやめた方がよいという警鐘です。～以上～

ノーメディアデーはメディアに接する時間をコントロールする特別な日と考えます。家族で話す時間をちょっと長くしてみる、読書の時間を少し長くする、早めに休む等、ご家庭で工夫してはいかがでしょうか。



～スプリングコンテストへの取り組み～



今週の放課後はスプリングコンテストへ向けての学習が全校一斉に行われました。7校時の授業と同じ集中力が見られました。冬休

み前からの準備が実っているようです。

▽私立高校事前指導▽

今週は私立高校の受験を控えて、放課後に事前指導を行いました。真剣な表情と落ち着きを感じました。実力を発揮し、全員が合格することを願っています。



～発育測定実施～

今週発育測定を行いました。後日、保護者の皆様に結果をお知らせいたします。「自分手帳」を併せてご活用ください。



～生徒の繰替休業日について～

1月16日(月)は土曜日(休日)の繰り替えとなり、学校が休業となります。インフルエンザや感染性胃腸炎の流行の兆しが見られます。また、市内の他の小中学校は授業を行っています。不要不急の外出を避け、ご家庭で休養させてください。

